

廃棄物対策審議会議事録

会議名	平成29年度第1回廃棄物対策審議会
日時	平成29年5月31日(水) 13時30分～15時
場所	リサイクルプラザ・プラザ館2階 工芸室1
出席委員	稲葉委員、恵良委員、高橋委員、鈴木委員、樋口委員、三木委員、春田委員、龍田委員、村越委員
欠席委員	中村委員、秋山委員、藤田委員、橋本委員
会長	稲葉委員
事務局	田中環境部長、染谷環境部次長、糸井クリーンセンター所長、佐々木副所長、金子副所長、鈴木副所長、村山管理計画係長、石田収集・リサイクル係長、宮崎管理計画係副主査、片浦管理計画係副主査、横井管理計画係主任主事
傍聴人	0人
議題	1 流山市一般廃棄物処理基本計画(案)について (1) 流山市の基本方針について (2) 目標値について 2 その他
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度「第1回流山市廃棄物対策審議会」次第 ・席次表 ・資料1 一般廃棄物処理基本計画作業イメージ(参考) ・資料2-1 一般廃棄物処理の基本方針(案) ・資料2-2 生活排水処理の基本方針(案) ・資料3 ごみ処理基本計画策定指針(抜粋) ・資料4 目標値設定の考え方(案) ・資料5 審議会議事録(平成29年3月22日開催)
議事要旨	別紙のとおり

議事要旨

<ul style="list-style-type: none"> ・開会（13時30分） ・会長あいさつ ・議題 <ol style="list-style-type: none"> 1 流山市一般廃棄物処理基本計画（案）について <ol style="list-style-type: none"> （1）流山市の基本方針について （2）目標値について 2 その他 ・閉会（15時） 	
佐々木副所長	<p>定刻となりましたので、ただいまから平成29年度「第1回流山市廃棄物対策審議会」を開会いたします。</p> <p>本日の審議会の傍聴人の届け出がないことをご報告します。</p> <p>はじめに、4月の人事異動に伴いまして環境部長が代わりましたので新任の田中環境部長からご挨拶申し上げます。</p>
田中部長	～挨拶～
佐々木副所長	<p>～人事異動に伴う事務局紹介～</p> <p>～配付資料確認～</p> <p>それでは、これより本日の議事に入ります。</p> <p>ここからの進行は稲葉会長にお願いします。</p>
稲葉会長	<p>～挨拶～</p> <p>本日の出席委員は9名です。</p> <p>従いまして、「流山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則」第4条第2項の規定に基づき、定足数に達しておりますので、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、議事に入りますが、まず議題の1「一般廃棄物処理基本計画（案）について」事務局より説明願います。</p>
糸井所長	～一般廃棄物処理基本計画（案）について概要説明～
片浦副主査	～（1）流山市の基本方針について説明～
春田委員	<p>5Rから3Rにした理由があいまいに感じられます。</p> <p>ごみの発生を抑制するには根本を絞る必要があるため、行政として事業者に対し、ごみとなるものを作らない・売らない施策が必要ではないでしょうか。</p>
糸井所長	<p>発生抑制は重要ですが、お菓子を例に挙げると近年は個別包装が主流となっているため事業者に対して施策を展開するには難しい部分もあります。</p> <p>また、5Rから3Rにする理由としては、環境省が3Rを提示していること及び上位計画である環境基本計画に倣ったものです。</p>
春田委員	発生抑制について個別施策に入れてもらいたい。
恵良委員	<p>環境審議会でも5Rから3Rになりました。</p> <p>国の指針も大事ですが、流山らしさを出すことが重要です。</p>
稲葉会長	残りのリフューズ（不要なものを買わない、受け取らない）、ルール（規則遵守）が個別施策の中に入れてあれば流山らしさが出せます。
染谷次長	環境基本計画でもリフューズとルールについて否定するものではありません。3Rと言いつつも個別施策にはリフューズとルールについて載せていません。

鈴木委員	浄化槽を作る際、補助金があったように記憶していますが今もありますか。
染谷次長	合併浄化槽の補助金は毎年14～5件申請されています。
高橋委員	<p>リフューズとルールはリデュースに含まれるものと考えられます。現計画の中にも個別施策で「I.発生抑制の推進」とあるので、そこで盛り込めればいいのではないのでしょうか。</p> <p>それから、生活排水処理の基本方針は今まで一般廃棄物の減量について議論してきたことと同様に汚泥の減量等、処理の適正化を図れば良いと考えられるので、あえてキーワードを変える必要はなく、「ケロクルタウンを目指して」のままでいいのではないのでしょうか。</p>
恵良委員	下水処理技術は進んできています。下水へ流せばいいというわけでもない。流してしまえば快適なのかということも今後考えなければいけないため、ケロクルタウンという言葉は残した方がいい。
三木委員	受益者負担の面から、下水道に接続することで接続費や基本料金がかかってきます。流山に住んだ時点で下水道区域の方はいいですが、今まで浄化槽を利用していた方からすると下水道に切り替えることでいくら節約しても基本料金以下にならないので節約実感がないうえ、コスト意識として使っていないのに請求されるという不公平感があるのではないのでしょうか。
稲葉会長	事務局からは何かありますか。
田中部長	<p>下水道普及率は現在82～3%ですが、100%に近づけていくことが施策となります。</p> <p>受益者負担の考え方及びまだ家の浄化槽が使えるということから下水道に切り替えをされない方もいらっしゃいますが、少しずつ切り替えされる方も増えてきました。</p>
稲葉会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>基本方針についてまとめますと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5Rから3Rになるが、リフューズとルールについてはリデュースに集約し、個別施策として盛り込む ・生活排水処理のキーワードは「ケロクルタウンを目指して」を継承する ・下水道普及率については受益者負担に対する実感を持っている方がいることに関して、できるだけ検討していく <p>となりました。</p> <p>また、これまでの審議会に出てきた意見として高齢化に対応した支援及び新市街地と旧市街地による地域特性の2極化等、社会の変化に対応をしなければならないため、基本計画に盛り込めたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>次に、(2)目標値について事務局より説明をお願いします。</p>
片浦副主査	～(2)目標値について説明～
龍田委員	「〇〇だとどのくらい」というような具体的な例を出して目標値を明確に市民に提示してPRしていく方がいいと思います。
春田委員	目標値を設定するにあたり、設定した目標に対して達成しているのか、達成していないのか誰でも見えるようにしなければいけません。ダイエットしている人が毎朝体重計に乗るのと同じく、リアルタイムに見える必要があります。

三木委員	若い層の人口が増えていること及びインターネットで物がすぐ買えることを考えるとごみはどんどん増えていく可能性があるため、1人当たりの目標値を設定して抑えていかなければならない。身近な目標値が具体的に示されれば努力する目標にもなります。
佐々木副所長	見える化については情報提供した方がごみ減量に係る意識向上の一助になると感じています。
稲葉会長	ありがとうございました。 目標値についてまとめますと ・家庭系、事業系、集団回収を分けた方が目標値としてわかりやすい ・各月単位で目標値設定できれば細かな努力目標にしやすくなる 目標値の設定については、どこまでできるかも含めて次回も検討します。それでは、議題の2「その他」について、何かありますか。
鈴木委員	～鈴木委員持参の下記資料を配付～ ・フードバンクちば（読売新聞 平成29年5月28日号切抜） ・平成28年度アルミ缶提供明細書（提供先 新川小学校） 食べられるものが捨てられてしまうことが流山市でも多々あるかと思いますが、フードバンクについて資料をお配りしました。 また、商売をしている関係で空き缶を扱っていますが、回収業者へ出すよりも小中学校へ提供することで、学校は売却益をPTA活動費に充てることのできるそうです。自治会の集団回収もいいですが、リサイクルという意味では同じ考えでも、学校へ提供することで市の財源としては報奨金の減額につながるのではないのでしょうか。 それともう1つ。過去2～3回審議会を欠席してしまいましたが、ごみ処理手数料の見直しについて商工会議所の代表として会議に持ち帰りしましたところ、見直し案で改定した場合、事業者としては手数料を値上げしなければならないとの意見が出ました。
糸井所長	ごみ処理手数料の見直しについて過去7～8回に渡って議論してまいりましたが、上司含めて相談させていただきまして意見をまとめていきます。
高橋委員	資料1、現行計画の目標達成に向けた施策の欄で「VI. 緊急時における安心・安全な処理体制の確保」に具体的な内容が示されていないのはなぜですか。
金子副所長	平成22年度に策定された現行の基本計画には災害に係る計画が入っておりませんでした。その後平成27年度に見直しをした際、環境省から災害時の計画を立てるよう通達があったため、中間評価に盛り込まれました。今後の新基本計画についても皆様にはご審議いただく内容になります。
稲葉会長	ありがとうございました。 それでは、進行を事務局にお返しいたします。
佐々木副所長	ありがとうございました。 本日いただきましたご意見を踏まえまして、次回の審議会にて事務局からお示しいたします。 なお、次回も本日に引き続き「流山市一般廃棄物処理基本計画（案）について」を議題として、7月26日（水）13時30分から行う予定です。 改めまして、ご通知お送りいたしますのでご参加お願いいたします。 以上をもちまして平成29年度第1回流山市廃棄物対策審議会を閉会いた

	します。
--	------

	本日はお疲れ様でした。
--	-------------